

平成29年 3月13日

三好市議会議長 殿

議員名 竹内 義了  印

平成28年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、  
別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成28年度政務活動費収支報告書

議員名 竹内 義了

1 収入

政務活動費 204,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	69,232円	別紙のとおり
研修費		
資料作成費		
資料購入費	54,015円	
広報費	85,050円	
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		
合計	208,297円	

3 残 額 0 円

様式第6号 (申し合わせ第6条関係)

調査研究費支出一覧

年 月 日	支 出 内 容	金 額
平成28年11月1日	代表議員「竹内義了」により収支報告書提出分 東京都 地方創生の動向について	46,150
平成29年1月17日 ～1月18日	代表議員「竹内義了」により収支報告書提出分 (1)兵庫県加東市 福祉タクシー事業について (2)兵庫県広域防災センター 地域防災力の向上について	23,082
合 計		69,232

平成28年11月 8日

三好市議会議長 殿

代表議員名 竹内 義了



平成28年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項に基づき、  
別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成28年度政務活動費収支報告書

代表議員名 竹内 義了

1 収入

(単位：円)

議員名	金額	議員名	金額
平田 政廣	46,150	三木 和弘	32,950
天羽 強	32,950	柿岡 敏弘	46,150
千葉 清春	32,950	仁尾 健治	42,370
竹内 義了	46,150	大浦 忠司	32,950
並岡 和久	32,950	美浪 盛晴	32,950

政務活動費計 378,520円

2 支出

(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	378,520円	
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		

平成29年 1月 19日

三好市議会議長 殿

代表議員名 竹内 義了



平成28年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項に基づき、  
別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成28年度政務活動費収支報告書

代表議員名 竹内 義了

1 収入 (単位：円)

議員名	金額
平田 政廣	23,081
天羽 強	23,081
千葉 清春	23,081
美浪 盛晴	23,081
竹内 義了	23,082

政務活動費計 115,406円

2 支出 (単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	115,406円	
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		





領 収 証

竹内義了 様

No. \_\_\_\_\_

金額

¥ 9,540

但

「議会と自治体」2016.4月号～2017.3月号まで

2017年3月8日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

〒100-0001 東京都千代田区千代田 日本共産党 河北地区委員会  
 電話(0883)24-  
 FAX(0883)24-  
 三宅新聞店

GR1415

領 収 書

竹内 義了 様

7,359 円

月刊「自治研」 平成28年5月分～平成29年3月分

平成 年 月 日

出版物取扱者



領 収 証

平成29年3月10日

竹内義了 様

平成28年4月分～

29年3月分

☆ 737.116.-

但 朝日新聞社とL2  
上記正に領収いたしました

有限会社 三宅新聞店

代表取締役 三宅章雄

三好市池田町

TEL 0883-74-





領 収 証

No. 031881

竹内 様

金額	百万	千	円
		43	200

内 訳	現金	<input checked="" type="checkbox"/>
	小切手	
	手形	
	相殺	



但

上記の金額正に領収致しました

平成 28 年 5 月 27 日



株式会社 さくら印刷

代表取締役 仁尾 鉄平

〒778-0020 徳島県三好市池田町  
TEL(0883)72- FAX(0883)72-



領 収 証

No. 032279

竹内 様

金額	百万	千	円
		32	800

内 訳	現金	<input checked="" type="checkbox"/>
	小切手	
	手形	
	相殺	



但

上記の金額正に領収致しました

平成 28 年 7 月 19 日



株式会社 さくら印刷

代表取締役 仁尾 鉄平

〒778-0020 徳島県三好市池田町  
TEL(0883)72- FAX(0883)72-



領 収 証

No. 032570

竹内 様

金額	百万	千	円
		37	800

内 訳	現金	<input checked="" type="checkbox"/>
	小切手	
	手形	
	相殺	



但

上記の金額正に領収致しました

平成 29 年 3 月 9 日



株式会社 さくら印刷

代表取締役 仁尾 鉄平

〒778-0020 徳島県三好市池田町  
TEL(0883)72- FAX(0883)72-



様式第14号(申し合わせ第6条関係)

広報経費内訳書

広報の内容 三好市議会レポート よしのり通信

項目	金額	備考
印刷製本費	85,050	
消耗品費		
送料		
合計	85,050	

- ※ 作成した広報紙・報告書等を1部添付すること。
- ※ 領収書を添付すること。

複数人での支出の場合は、当該支出に関する議員氏名

--



笑顔届ける

三好市議会レポート

2016年 春

# よしのり

# 通信

Vol. 9

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



2015年9月議会において一般質問で取り上げた「手話言語条例」が2月議会において制定されました。この条例は「手話に対する理解を深め、これを広く普及するとともに、手話を使う市民が安心して日常生活を送ることができる環境を整え、すべての市民が共に生きる地域社会を実現する」ことをめざすものです。誰もが暮らしやすい三好市をつくっていきましょう。(写真提供 特定非営利活動法人 徳島県聴覚障害者福祉協会 様)

春の日差しが心地よく感じる季節となりましたが、みなさまにはお変わりなくご壮健にてお暮らしのこと何よりに存じます。また、日頃より叱咤激励をいただいていることに感謝申し上げます。

2月定例会が終了し、平成28年度当初予算をはじめ、全ての議案が可決されました。新年度では「乳児家庭保育支援給付事業」など、三好市独自の施策が始まります。また、本庁舎やサンライズビルなどの公共施設再編整備も具体的なスタートとなります。

市民生活の安全・安心が保証され、すべての市民のみなさまが健康で、笑顔あふれる暮らしが送れますように、本年度もしっかりと市政のチェックを行うとともに、みなさまの暮らしの声を市政に反映させていきます。みなさまのご意見をお聞かせください。



三好市議会議員 竹内 義了

子育て支援施策の充実を

## 2月定例会

## 竹内よしのり一般質問要旨

## 子育て支援施策の充実を

この間、第三子保育料の無料化や育児用品購入補助制度の創設、また病児保育室の開設を図るなど市独自の施策を進めてきている。子育て支援策の充実是三好市版総合戦略の中でも重要な柱。そこで以下について見解を伺う。

- ①旧町村を基本地域に認定こども園の設置を。
- ②第二子保育料無料化など抜本的な見直しを。
- ③乳児家庭保育支援給付事業での効果は。
- ④放課後児童クラブの施設・制度の充実を。

## 公共施設の再編整備に向けた対応は

本庁舎や公民館など、高度成長期に大量に建設された公共施設が更新時期を迎えている。市でも公共施設等総合管理計画の策定が進められているが以下について問う。

- ①三好市の公共施設の種別を示せ、また1981年耐震基準以前の建築物の状況は。
- ②資産の除却には、交付税措置も含め有利な合併特例債の利用をするべきと考えるが見解は。

## 市答弁要旨

## 重要課題として協議、検討していく

- ①旧町村単位で教育・保育提供区域を設定しているが一部では飽和状態もあり早急な対応が必要と考える。
- ②保育料見直しは今後継続して協議を進める。
- ③新制度により子供との愛着形成の深化を図り、一歳までの貴重な時間を家庭で子供と生活していただきたい。
- ④家庭にかわる生活の場として、安全・安心に過ごせる環境を整えていく。

## 中長期的な再配置計画を策定し対応する

- ①施設数として多いのは集会所や公民館等の市民文化系施設で全体の31%を占める。公共施設全体数は620施設、915棟。内330棟が旧耐震基準。本庁舎、中央公民館、現教育委員会庁舎、サンライズビルは全て旧耐震基準。
- ②資産除却は再配置計画を策定し、有利な方法で対応したい。合併特例債は資産除却には自由度も高い。

## 2016年度予算の主な事業

## 定住促進対策事業

移住・定住の促進及び空き家の有効活用を進めます。空き家情報登録制度の推進を図るとともに、移住希望者に三好の暮らしを体験してもらうことのできる「お試し住宅」を整備します。

## 乳児家庭保育支援給付事業

乳児の保育を家庭で行う保護者に対し給付金を支給することにより、生活の安定と愛着形成の深化を図り、児童の健全な成長を目指します。

## 防災広場整備事業

市民を災害から守るため、近隣商業地区で多くの人が集まる池田地区に防災広場を整備するものです。

## シニア層地方移住促進実行委員会補助

シニア層を移住対象者として位置づけ、「仕事」「住まい」「コミュニティ」「生活サポート」等の実証実験を行い、移住促進策、医療・介護の高品質なサービス供給体制の構築を図るものです。

その他多くの新規・継続事業があります。



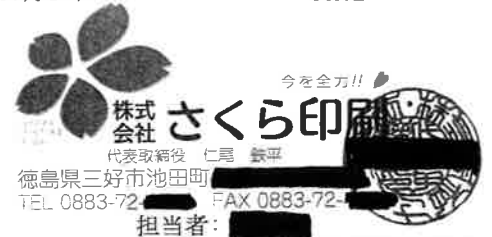
納品書

No. 00010490

売上日 平成28年07月19日

PAGE 1

竹内よしのり 様



お客様コードNo. [REDACTED]

リーフレット よしのり通信vo110

1,000 枚

30,000

取引銀行:

30,000	2,400	32,400
--------	-------	--------

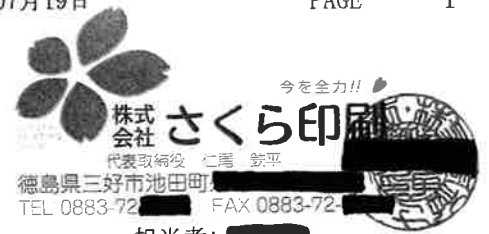
請求書

No. 00010490

売上日 平成28年07月19日

PAGE 1

竹内よしのり 様



お客様コードNo. [REDACTED]

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	リーフレット よしのり通信vo110	1,000	枚		30,000	

取引銀行:

合計	税抜額	30,000	消費税額	2,400	総額	32,400
----	-----	--------	------	-------	----	--------



笑顔届ける

三好市議会レポート

2016年 夏

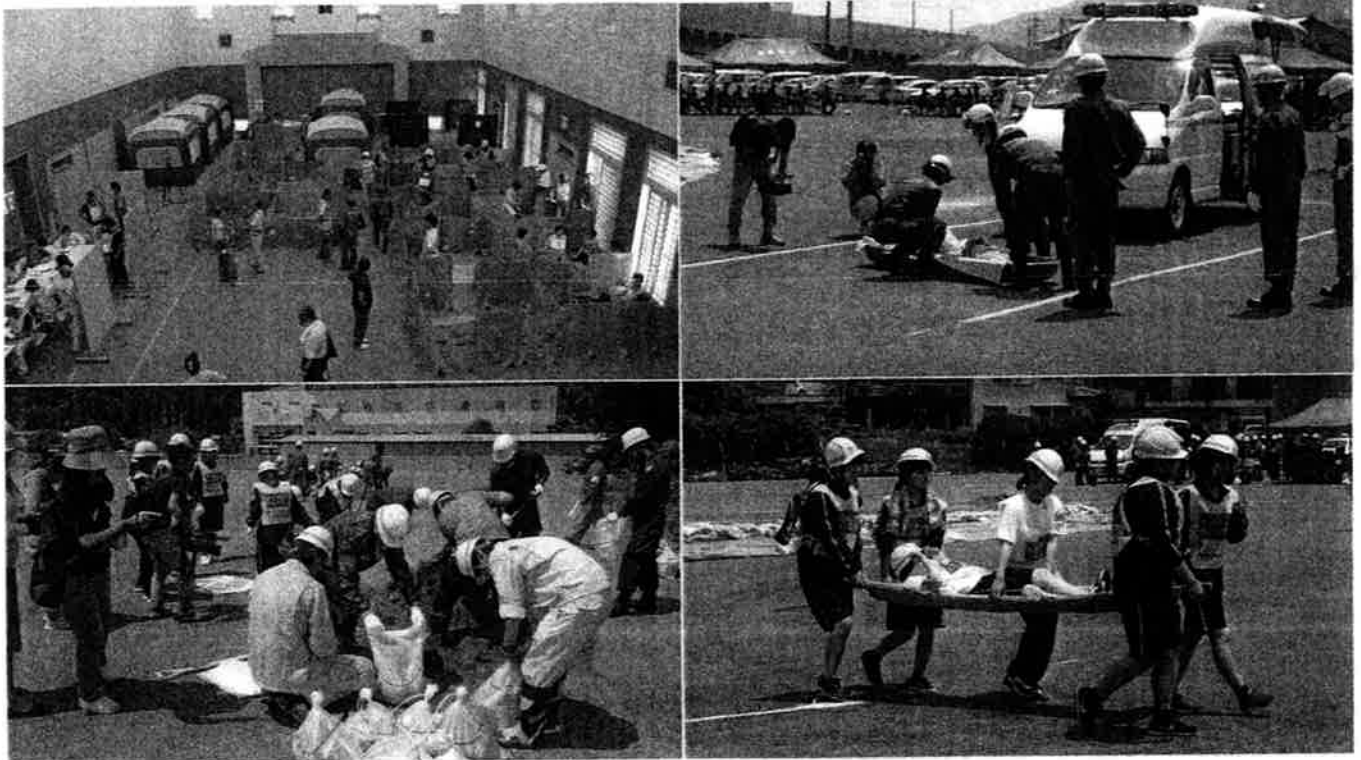
# よしのり

# 通信

Vol.10

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



6月26日(日)に池田町総合体育館周辺で行われた三好市総合防災訓練。体育館では市職員や池南新山自主防災会による避難所設営訓練や婦人会による炊き出し訓練、船井電機工場跡地では、高校生や建設業協会、消防団などの参加により救助搬送訓練や土のう積み訓練などが行われました。  
こうした取り組みの積み重ねが自助・共助・公助それぞれの向上に結びつきます。

暑さ厳しき折、みなさまにはお健やかに過ごしのことと拝察いたします。

7月10日に行われた参議院議員選挙は、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、初めて高知・徳島が合区として選挙が行われるなど、大きな変化があった選挙でした。投票率は過去最低を記録し、政治離れの深刻さも浮き彫りとなりました。

消費税増税の先送りやアベノミクス推進の是非などが争点とされましたが、選挙戦の中では憲法改正の課題について論争が深まらないまま、多くの国民が仕方なく「現状維持」「安定」を選択したとも言えます。その選択の結果、改憲勢力が2/3を越すことになり、今後国会を含め様々な場所で「改憲」が議論の俎上に上がってくるのは明らかです。今後の安倍政権を注視することが極めて重要となります。

さて、三好市議会も委員会構成等が変わるとともに、「新庁舎建設」や「議員定数」などの検討がそれぞれの特別委員会が進められていくことになりました。私は引き続き総務企画常任委員会の中で市政のチェックを行うとともに、広報編集、新庁舎建設、議員定数検討の委員として取り組みます。

今後のご意見等お寄せ戴ければ幸いです。

三好市議会議員 竹内 義了

子育て支援施策の充実を

## 6月定例会

## 竹内よしのり一般質問要旨

**熊本地震を踏まえ、三好市の防災・減災対策の向上を**

①熊本地震では、災害対応の拠点となるべき自治体庁舎や病院などで深刻な被害が生じた。宇土市、益城町など5市町の庁舎が損壊等により使用不能となっている。こうした状況をどのように受け止めているか。

②耐震化工事を終えた体育館の屋根材、吊り天井や照明器具の落下等により「指定避難所」が多数閉鎖され、「非構造部材」への地震対策が不十分である実態が露呈した。三好市における「指定避難所」の耐震化は、また実情をどのように把握しているか。

③「前震・本震」という二度の震度7の激しい揺れにより、熊本、大分両県での住宅被害は10万棟を越す。犠牲になった49人の内、8割近くの37人が家屋の倒壊で亡くなっている。内、少なくとも20人の家屋は旧耐震基準という調査結果も出されており、早急な耐震化の促進が国や自治体の課題だ。三好市では平成25年度からこの間、無料の耐震診断、木造住宅耐震改修への補助、簡易な耐震化リフォーム工事への補助、耐震シェルター設置への補助など耐震化支援事業に取り組んできている。これまでの実績と成果、今後の取り組みは。

④地震調査研究推進本部の2016年1月発表によれば、震源とされる日奈久断層帯で30年以内にM7.5程度の地震が発生する確率はほぼ0～6%とされており、布田川断層帯でも同程度と予測されていた。三好市を含む四国から近畿方面にかけては中央構造線断層帯があり、四国への影響も懸念されている。中央構造線断層帯を震源とする地震の発生も可能性が増したと捉えるべきであり、防災意識、体制、設備の向上強化が急務と考える。防災訓練の実施や自主防災会の機能強化など今後の取り組みは。

## 市答弁要旨

**防災意識の向上を図り、地域全体で防災力を上げていく**

①庁舎等の被害は市としても非常に重く受け止めなければならない。現市庁舎も倒壊、崩壊の危険性も指摘されており、新庁舎の建設、移転に向け計画を進めている。復旧支援の派遣職員の経験も今後を活かしたい。

②三好市の避難所は220ヶ所。耐震化の現状は、広域避難所が100%、指定避難所は約59%、緊急避難所は約28%。合併以後に建設された池田中、東祖谷小・中、西井川小学校の体育館では非構造部材の対策がとれているが、他の施設は進んでいない。

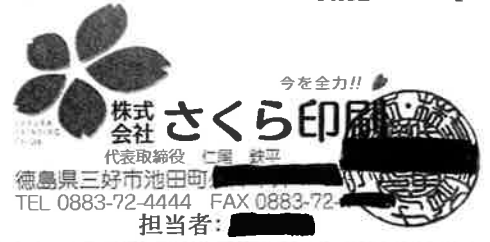
③住宅耐震化関係の実績は耐震診断が562件（平成16年度～）、耐震改修が40件（平成17年度～）、リフォーム支援事業が54件（平成24年度～）、耐震シェルター設置が1件、住宅住み替え事業が1件。市民の耐震化に関する意識は向上してきているが、まだ充分とは言えない。木造住宅の耐震化への関心を高め、多くの方々に耐震診断を受けてもらい、必要な耐震改修等の事業を進めたい。県に対しても補助金の確保等働きかける。市内には老朽家屋の密集している場所もあり、「耐震ブレーカー」の設置補助等も検討したい。

④中央構造線活断層におけるM8.0程度の地震の発生率は30年以内に0～0.4%と言われてきたが、発生率が低いと言われた九州で大きな被害が生じた。また、近年は異常とも言える豪雨、豪雪等の自然災害も発生し、日頃からの防災対策が重要。平成27年度に防災体制の見直しと防災指導員の配置を進めた。自治会や自主防災会を通して「防災講座」の実施や訓練など啓発に努めている。三好市総合防災訓練や、孤立を想定した搬送訓練などを重ね、地域全体で防災力を上げていく。

納品書  
 売上日 平成28年12月27日

No. 00005792  
 PAGE 1

竹内よしのり 様



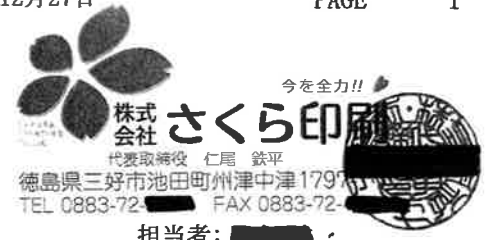
お客様コードNo. 〇〇〇〇

リーフレット よしのり通信 Vol111	1,500 枚	35,000		
取引銀行:		税抜額 35,000	消費税額 2,800	37,800

請求書  
 売上日 平成28年12月27日

No. 00005792  
 PAGE 1

竹内よしのり 様



お客様コードNo. 〇〇〇〇

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	リーフレット よしのり通信 Vol111	1,500	枚		35,000	
取引銀行:		合計		税抜額 35,000	消費税額 2,800	総額 37,800

笑顔届ける

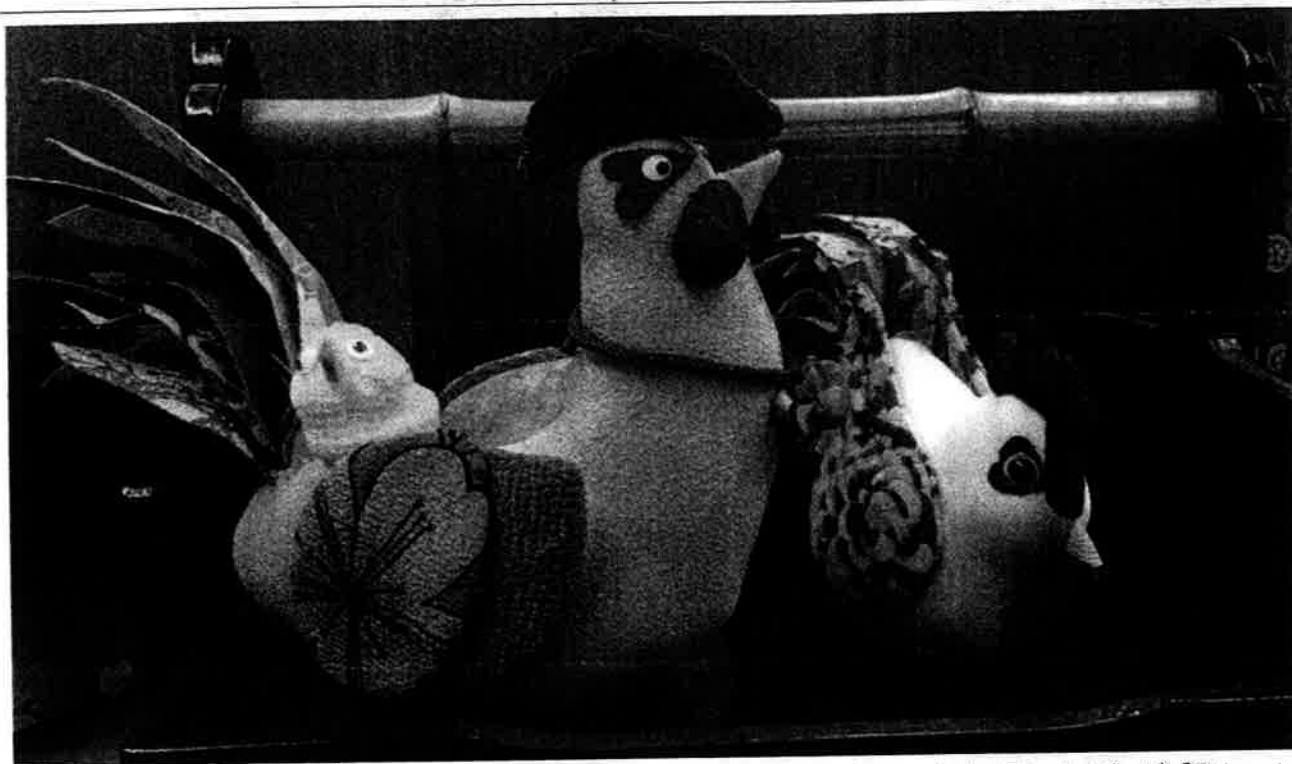
## よしのり

## 通信

Vol. 11

電話：0883-72-1549

E-mail：leon2004take@yahoo.co.jp



2017年は酉年。古くから「酉のつく年は商売繁盛に繋がる」と言われています。酉（トリ）が「取り込む」に通じると言われ、そこから「運氣もお客も取り込める」となったようです。三好市もこれまで進めてきた様々な施策を軸に、インバウンド、観光、移住など市外からの来訪が増えるよう活気あるまちづくりを進めていきたいと思います。（写真は古布を利用した飾り鶏：提供 池田町 黒木公子様）

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

みなさまには良き新春をお迎えのことと存じます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご指導賜りますよう、よろしく願いいたします。みなさまのご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、三好市ではこれまで「第3子以降の保育料無料化」や「山間地への介護保険事業補助制度」など市民生活に直結した施策を進めるとともに、地方創生を基軸とした市内への移住者対策や「三好市まるごと観光地」構想の推進等に積極的に取り組んできました。

昨年には「温泉総選挙2016」において、大歩危祖谷温泉郷がインバウンド部門全国2位に選ばれました。また、2016年度上半期において徳島県内への移住者数の内、三好市への移住者が県内最多の71人を数え、一定の成果があらわれています。さらに、「三好市生涯活躍のまちづくり計画」が国の地域再生計画として認定されるなど、さらなる飛躍へ向けての基盤ができた一年でもありました。

本年は、こうした施策をひとつひとつ進めていきながら、三好市の未来に向き合っていきます。本年もみなさまのご協力を心よりお願いいたします。

2017年1月

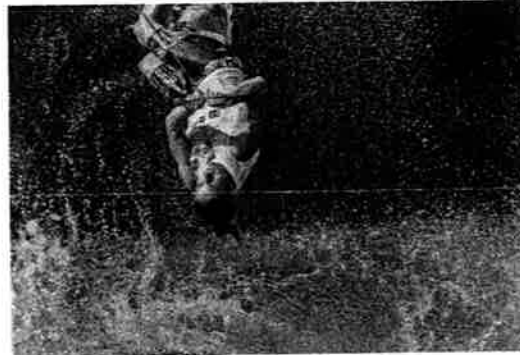
三好市議会議員

竹内 義了



2017年10月、「ラフティング世界選手権2017」が吉野川・大歩危、小歩危を中心に開催されます。写真は2016年10月に開かれたプレ大会。たくさんの選手、観客が吉野川を訪れました。

昨夏は「ウェイクボード第一回アジア大会」が吉野川池田ダム湖で開催され、アジア各国から集まった選手がジャンプ等華麗な技を繰り出しました。来年以降、世界大会の開催も検討されています。



「ツール・ド・にし阿波」や「夢来人イルミネーション」等、市民のみなさんが中心となって開催されるイベントが定着しています。多くの市民をはじめ市内外からの参加者で活気溢れるまちづくりが進んでいます。

写真提供 Toyohiro Ohgaki 様

## こんなことを聞きました 一般質問要旨

1. 「中小企業振興条例」の制定で市内企業の支援と経済の活性化をめざせ
2. 「公契約条例」を制定し公共サービスに携わる事業者、労働者の環境改善を図れ
3. 市内街路灯のLED化を

三好市内にある民営事業所の総数は1,637事業所あり、内99.7%、1,632の事業所が中小企業に該当します。こうした中小企業が市内の経済と雇用を支えており、地域社会や市民生活の向上に大きな役割を果たしており、市内経済の基盤である中小企業の成長が三好市の持続的発展には欠かすことができません。

また、公共事業や公共サービスは市民生活の基盤であり、多くの事業所、労働者が携わっています。こうした市民生活に直結した様々なサービスや工事を担う受注事業者の適正な利益とそこで働く人々の労働環境を改善し、地域経済の活性化、好循環を作ることは市を挙げての喫緊の課題です。

「中小企業振興条例」「公契約条例」などの条例制定は、自治体、事業者、働く人々、そして市民生活を良くする条例です。早期の制定を求めています。

市内街路灯にはまだまだ蛍光灯や白熱灯、水銀灯が多く残されています。国は2020年度以降に全ての照明の供給をLED化することをめざしており、行政の対応も求められています。

昨年9月議会、12月議会ではこうした質問を行い、行政の対応を求めてきました。これからも暮らしの向上を基本に、行政に「声」を届けていきます。

公職選挙法の規定により、年賀の挨拶を控えさせていただきました。